

16 東京法学院大会

〔「法学新報」第一二号 明治二十五年三月二十五日〕

○東京法学院の大会

東京法学院の大会は去る二十日午後一時より同院大講義室に於て開かれたり当日は来会者非常に多く講師院友生徒無慮二千人の多きに達し近來稀なる盛会なりし坪井九馬三、花井卓藏、福田秀太、山崎林太郎、一由愼吾、安田壽哉、熊井武美の諸氏順次登壇し各々得意の雄弁を揮はれ就中坪井氏の「瑞士共和国建国始末」は東西に出入し古今に上下し博引傍証卓論風生人をしも覚へす快と呼はしめたり最後に松野貞一郎氏議長となり左の問題に就き数番の討論あり点灯の頃に至り閉会を告げたり

開会前の犯罪被告事件に関し保釈を許されたる国会議員保釈条件に背き議院に出席したる場合に於ては議院の許可を経ず令状を持たずして其議員を逮捕するを得るや